

由利本荘市
にかほ市版

発行 みのり川信英後援会



かえる通信

みのり川信英公式ホームページ <http://minorikawa.jp>

平成21年度
国の予算特集



由利本荘市・にかほ市の振興に全力!

国道7号線「勝手橋」が供用開始予定 本荘地区五橋の架け替え工事が全て完了

国道7号線の本荘～岩城のおよそ14.5kmの間に架かる小屋川橋、親川橋、芦川橋、新衣川橋、勝手橋の5つの橋は、海辺から吹き付ける潮風による塩害で、鉄筋等の腐食が進行し、落橋の危険性が高まっておりました。これらの橋の周辺には迂回路がなく、万が一落橋した場合には長期間にわたって交通が遮断され、周辺に住まわれる方々の生活に重大な影響を及ぼすことから、これらの橋の架け替え整備が急務となっておりました。

しかし、平成14年までに南側の3橋の架け替えは完了しておりましたが、残る新衣川橋と勝手橋の工事は遅々として進まず、住民の皆様から工事の進捗を心配する声が大きくなっておりました。

そこで、御法川議員は平成19年に国土交通省に対して「緊急輸送道路の橋梁耐震補強3カ年プログラム」の策定をせまり、3年間で残り2橋の架け替え工事を完了することが出来るよう、それまでの毎年の予算額を1億1,000万円から4億3,200万円へと大幅に増額させました。これにより、平成19年度内に新衣川橋の架け替え工事が完了し、今年度には残る最後の1橋である勝手橋も完成し供用開始となります。

幹線道路である国道7号線の信頼性が高まることによって、地域の皆様の生活や産業の発展に大きな役割を果たすことが出来ることと思います。



勝手橋の現況

交通安全を目指して 象潟地区の自転車・歩行車道の 整備が新規採択

国道7号線、にかほ市象潟町字上狐森～字琴和喜地区の沿線には道の駅象潟や総合病院、近隣には市役所象潟庁舎や小・中学校などがあり、主にお年寄りや子どもたちの利用が多く通学路にも指定されています。

しかし、この区間は上下線共に歩道の幅が狭く、車道との間に段差があって沿線の車庫等への進入部分が大きく波打った状況のため、お年寄りの歩行や自転車・車椅子などの通行に不便な点がありました。

そこで、安全で快適な歩行者及び自転車等の利用環境を確保するため、今年度からバリアフリーの新しいタイプの歩道の整備を始めます。



歩道の段差



歩道の現況

日沿道の進捗状況 琴浦川橋と白雪川橋の下部工の工事に着手

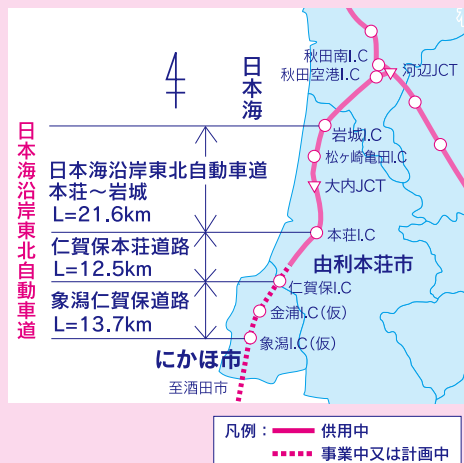
国道7号線の交通混雑の緩和や騒音など、沿線の皆様の住環境の改善や災害時の交通機能確保のために自動車専用道路である日本海沿岸自動車道(日沿道)の整備を急ピッチで進めています。

秋田県内における日沿道の整備状況は、にかほ市両前寺から岩城までの区間が平成19年9月17日に開通して秋田市に直結し、現在は仁賀保本荘道路の残り1.3kmと象潟仁賀保道路の13.7kmの整備を引き続き行っています。

今年度は、21年度当初で57億円の予算を確保し、設計協議、用地買収、改良工事を推進するほか、象潟仁賀保道路の琴浦川橋と白雪川橋の下部工の工事に着手しますが、今後も一刻も早い開通を目指して最大の努力をして参ります。



日沿道の工事状況



河川・砂防・海岸等の整備事業も順調に

古より農業や運送業にとって大いなる恵みである河川は、一方で人々の生活や生命を脅かす自然災害をもたらします。水を活かし水を守る河川管理は国にとって最も大きな仕事の一つです。

鳥海山に源を発し、本荘平野を貫流しながら、石沢川、芋川と合流して日本海に注ぐ子吉川とその流域河川の維持管理並びに周辺の砂防や海岸の浸食対策などに、今年も15億円を超える予算をつけることが出来ました。

主な事業は別表のとおりです。



河川・砂防・海岸等の整備事業	事業費
<ul style="list-style-type: none"> ■ 子吉川主な事業 <ul style="list-style-type: none"> ・石脇地区の河道掘削等 ・堤防等の維持管理や補修等の事業 ・流域の砂防事業など 	16億9,720万円
<ul style="list-style-type: none"> ■ 芋川(河川改修) 	3億9,000万円
<ul style="list-style-type: none"> ■ 海岸浸食対策(本荘海岸、岩城海岸) 	3億7,500万円